

平成27年度第1回弘前圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会
意見・質問等

(1) 連携施策の実施状況に対する意見・質問等

委員	内 容	回 答
對馬 覚	生活機能の強化 (1) 医療 救急医療体制の維持及び拡充	・ 圏域における救急体制については、小児科において、黒石市国民健康保険黒石病院が平成27年4月から医師不足により診療できなくなり、二次救急輪番病院から離脱しております。 ・ また、外科においても、同様に医師不足のため、平成27年4月から、小野病院が離脱し、弘愛会病院も当番回数を減らさざるを得なくなりました。その不足分を、残りの3病院が当番回数を増やして対応しています。その外科系二次救急輪番病院の負担を軽減するため、弘前市医師会のご協力により、患者が最も多く受診する休日の日中に限り、平成27年10月から弘前市急患診療所で新たに外科診療を始めていただくこととなったものです。 ・ 本圏域の連携施策による事業では、「休日及び夜間における一次救急診療事業」として、圏域構成市町村が、弘前市急患診療所に係る経費について負担しています。
	生活機能の強化 (7) 環境 カラス対策の連携	
對馬 覚	・ 休日・夜間の救急体制の維持・充実とありますが、たしかに急患診療所・休日在宅は維持したようですが、圏域としての救急体制は平成24年度と比べて、維持できましたか？また、今後できますか？弘前市急患診療所で外科の受入始まってますが、経緯と圏域会議の関わりについて説明をお願いします。	街なかカラス対策として、高輝度LEDライトの貸し出し、高層建物へのテグス（釣糸）の設置依頼と提供、ごみ集積ボックス等設置費補助、箱わなによる捕獲駆除などを実施しており、停留による糞害や生ごみ食い散らかし防止に効果を上げています。 10月に実施した個体数調査では、例年より1千羽ほど多く確認されていますが、これはユーラシア大陸からの渡りガラスの数が多いことによるものと推測されます。 カラス対策は、効果が出るのに5～10年を要すると言われており、今後も長期的視点で対応していくことになります。
	・ 取組実施はされているようですが効果はどうなのでしょう。途中経過が知りたい。 最近なおカラスが増えた気がするので、実施された内容に具体的効果があったのか知りたい。	

(2) ビジョン変更案についての意見・質問等

委員	内 容	回 答
久保 正彦	資料 4 生活機能の強化 (7) 環境 ③使用済小型家電リサイクルの推進 弘前地区と黒石地区の両施設で上記事業展開しているようだが、事業費が0円になっており、将来的に事業統合されていくものなのか。見通しをお知らせください。	弘前地区環境整備事務組合と黒石地区清掃施設組合の両施設では、搬入される不燃ごみや大型ごみから、使用済小型家電のピックアップ回収を実施しています。 弘前地区環境整備事務組合の事業費は、回収した使用済小型家電をリサイクル事業者へ引き渡すための収集運搬委託料であり、構成する6市町村の負担割合を乗じたものを各市町村の事業費としています。 一方、黒石地区清掃施設組合では、回収した使用済小型家電を自らリサイクル事業者へ運搬しており、収集運搬費用が発生しないことから、事業費を0円としています。 このように、事業費は両施設の収集運搬方法により異なっているものであり、事業統合とは関係ございません。 また、将来的な事業統合についても現在のところ検討しておりません。